

しらかわの 身近な文化財

第十九話
白河の古い道、新しい道

古代から交通の要衝であった白河には、古代東山道や鎌倉時代の奥大道、江戸時代の奥州道中などの主要な道が通っていたことが歴史資料から分かっています。

古代東山道は、発掘調査で確認されていないため、場所の特定には至っていませんが、白河関が人や物資の往来を取り締まる検問所としての役割を果たしていたと考えられることから、周辺に東山道が通っていた可能性があります。

白坂にある白河南中学校の建設に伴う発掘調査では、鎌倉時代頃の道跡の存在が明らかになっています。道跡は幅5m、周囲には掘立柱建物跡・井戸跡などが見つけられました。また、江戸時代初期の道跡が



▲写真1
芳野遺跡道跡



▲写真2
石阿弥陀の一里塚

中世の道跡（写真1）と重なるように見つけられました。道幅は約8mで、両端に幅約70cmの側溝が2条残っています。この道跡を東に向かうと、市指定史跡の石阿弥陀の一里塚（写真2）が一对で残されています。道はこの塚の間を通っていたと考えられ、江戸時代初期の奥州道中と考えられます。

奥州道中は、その後丹羽長重による小峰城の改修に伴い、現在の国道294号のルートに付け替えたと考えられており、社会情勢の変化や地域拠点の移動に伴って道の位置も変更されていたことがうかがえます。

道は、人々や物資の移動だけでなく、情報の移動や軍事的な側面もあり、地域を考える上で重要な文化財です。

問文化財課 ☎2310

★新生 白河実業 Vol. 8

白河実業高校 ☎1176

「スポーツの秋」

10月に行われた二つの行事を紹介します。

校内駅伝大会

本校舎をスタートし、川谷小学校までの往復17区間（全長62km）を走りました。沿道の地域の方のご協力、そして温かいご声援をいただきありがとうございました。



運動会

本校舎と塙校舎の生徒が合同で運動会を行いました。11種目で競い合い、みんなの個性が輝いた笑顔の絶えない1日となりました。

▽台風の日



▽ムカデ競争



△綱引き



△塙校舎生徒の和太鼓演奏